

# 会議録

1 会議名

第10回 吹上・釜蓋遺跡整備活用委員会

2 議題（公開・非公開の別）

議事(1) 整備工事の現状と今後のスケジュールについて（公開）

議事(2) 平成26年度事業報告と平成27年度事業計画について（公開）

議事(3) その他

3 開催日時

平成26年12月17日（水）午後2時00分から3時40分まで

4 開催場所

上越市ラーバンセンター第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 出席者の氏名（敬称略）

・委員：小島幸雄（委員長）、五島由美子（副委員長）、大島政義、岡村道雄、  
片岡明、増田美樹、八木文夫

・オブザーバー：澤田敦（新潟県教育庁文化行政課副参事）、佐藤慎（妙高市教育委員会生涯学習課主事）、木島勉（糸魚川市教育委員会文化振興課課長補佐）

・事務局：文化行政課 中西課長、浅野副課長、新保主任学芸員、吉川主任、  
羽深主任、湯尾主任、溝内主任

7 発言の内容

別紙のとおり

8 問合せ先

教育委員会文化行政課 TEL：025-545-9269

E-mail：bunkagyousei@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別途の会議資料も併せてご覧ください。

## 第10回 吹上・釜蓋遺跡整備活用委員会

平成26年12月17日(水) 午後2時00分～4時00分

ラーバンセンター 第4研修室

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 議事(進行:小島委員長)

## (1) 整備工事の現状と今後のスケジュールについて

〔事務局から説明〕—資料1

〔委員からの質問・意見〕

片岡委員)

- ・ 公園とガイダンス施設の名称は決まったのか。

事務局)

- ・ 公園の名称は釜蓋遺跡公園として、都市公園の中で位置付けられている。
- ・ 施設の名称は、補助金上はガイダンス施設である。名称をそのままとするか愛称をつけるかは検討中である。委員会の中でアイデアを出していただき、最終的に市として決定したいと思っている。

## (2) 平成26年度事業報告と平成27年度事業計画について

〔事務局から説明〕—資料2

〔片岡委員から補足〕

- ・ JRの駅からハイキングは、斐太遺跡群をめぐるということで採用していただいた。初回が3月29日の予定。4月以降は11月くらいまで実施することを考えている。上越市と妙高市から協力いただく形になっている。JR東日本の主要駅にチラシが配布されるということで、多くの来訪者が期待できる。

〔委員からの意見・質問〕

八木委員)

- ・ 春・秋のまつりでは、応援団の方々が一般の方によく説明し、丁寧に教えるということで非常に好評だった。今後もさらにレベルアップさせないといけない。

五島副委員長)

- ・ 春まつりは閑散としていて、今日は祭りなのかという感じを受けた。
- ・ 秋まつりではものすごく賑わっていた。体験を喜んでもらい、遺跡を知ってもらって良かったと思う。これをベースにこれからも応援団で頑張っていきたい。

小島委員長)

- ・ 今年の反省をきちんとしてほしい。地域の皆さんとどうやって連携できたかを整理した上で、まつりの在り方を新しく変えていくべきだと思う。数だけが全てではないが、大和小学校の児童数を考えるともっと多く集まるのではないかな。

片岡委員)

- ・ オープン後のガイダンス施設の紹介や活用の仕方について、イメージがあればお聞きしたい。

事務局)

- ・ 体験活動として、勾玉づくり、土笛・ミニ土器づくり、石包丁づくり、火起こし体験、塗り絵を用意。材料は実費負担で考えている。
- ・ 主な対象は地元の小中学生と考えており、現在市内の小中学校の先生と連携して、知ってもらうことから始めている。
- ・ 学年別・習熟度別のワークシートを作成したいと考えている。

小島委員長)

- ・ 活用のイメージが極めて抽象的。もう少し具体的に話ができるようにしてほしい。
- ・ 今回欠席している平沢委員が以前から発言していた、釜蓋らしさ、吹上らしさをというのを、もっと外に目を向けて議論してほしい。

八木委員)

- ・ 応援団の視察で行った北代遺跡や古津八幡山遺跡は、人はあまり来ていない印象を受けた。そこでは我々と同じように応援団的な人が来園者に指導していたが、中身は土器作りや石包丁作りなどで、同じような体験活動しかできないのかと思った。
- ・ 応援団の活動が毎回同じだと飽きが出る可能性があるので、工夫しないといけない。

岡村委員)

- ・ 全国で1,700か所ある国史跡のうち、整備活用されているのは約1割。
- ・ 環濠集落は平らな所にあるから、遺跡そのものを体感してもらうのはなかなか難しい。しかし他の同種の遺跡でも春や秋のまつりを行っており、本当のまつりになっているところもある。体験だけが目的ではなく参加型のまつりになっている。
- ・ 滋賀県守山市の例では、下之郷遺跡・伊勢遺跡で卑弥呼まつりを行って、商工会や自治会の人自分たちで楽しんでいる。楽しんでいるのを見て、市民も集まってくる。
- ・ 学校との連携も、地元の祖先の歴史をみんなで解明しようという視点が重要だと思う。学校の授業だけではなく、釜蓋遺跡から学べるものがある。遺跡や遺跡群、地域が持っている固有性を共有する視点が、学校教育との連動でも必要ではないか。ただ子供が来ればいいという話ではないと思う。

増田委員)

- ・ 大和小学校では、6年生が総合学習で「道」をテーマに大和の過去・現在・未来を学習している。吹上・釜蓋遺跡に特化すれば、地元民としてさらに得るものがあるので

はないかと感じた。

- ・ 秋まつりをPRしていただき、子どもたちも楽しみにしていた。小学校の文化祭でもぜひ、体験活動ができるようにしたい。
- ・ 子供たちは、なかなか普段から遺跡で体験活動をしに行かないのではないかと。子供たちが行って楽しいようなところがあると、もう少し賑やかになるのではないかと。
- ・ 自分たちが参加して祭りを作るようなことをすると、子供たちがこの場所を自分たちの地元として誇りを持っていけるのかなと思った。

片岡委員)

- ・ 釜蓋遺跡公園と他との違いは広さ。広さを生かしたメニューが少ないのではないかと。
- ・ 例えば小学校のクラス対抗の凧揚げ大会はどうか。話題性も出るのではないかと。

小島委員長)

- ・ 新幹線の架線に引っかけないように気をつければ、楽しい考えだと思ふ。

澤田オブザーバー)

- ・ 県内のまつりの例では、十日町市の笹山遺跡で縄文市を開いていて、2,000～3,000人位が参加している。
- ・ 遺跡に無関係ないろいろなものを取り込んで、古墳まつりと称して行っているところもある。そうした例を参考にしていけばいいのではないかと。
- ・ 鉄道まつりなどの会場として史跡を使うというような発想もいいと思ふ。

佐藤オブザーバー)

- ・ ガイダンス施設の展示の内容がまだ見えていない。
- ・ 斐太遺跡群は吹上・斐太・釜蓋遺跡という3つの遺跡が低地から高地、そしてまた低地と移動したところに大きなストーリー性があり、その価値が認められて国史跡になっている。
- ・ 今年は高田開府400年だが、春日山から福島、高田へという流れのイメージが、まさに斐太遺跡群にも当てはまる。
- ・ ほかの地域にはない魅力ということで、上越市と妙高市がお互いにもっと強くPRして、交流人口が拡大して相乗効果が生まれるような工夫を作るのがいいと思ふ。

小島委員長)

- ・ 学術的評価は後世に変わってもいいので、ぜひ妙高市とも連携して行ってほしい。

五島副委員長)

- ・ 国史跡でやってはいけない制約が多く、応援団としてできることが限られている感じがする。どこまで公園の中でできるのかははっきりさせてほしい。

大島委員)

- ・ 町内の方から、釜蓋遺跡でサイノカミをしたらどうかということをついたら、それはだめだと言われたという話を聞いた。先ほどの規制との関係で、熱意のある人ができるような範囲で許してもらえれば、地元の人の熱意も変わってくるのではないかと。

岡村委員)

- ・ 史跡内で火を焚いたり、物を売ったりしてはいけないということはない。どうも間違っていて伝えられていて、文化庁に対する不信感につながっている。逆に、制約があるなら、どうやったらクリアーできるかを文化庁と協議してほしい。

小島委員長)

- ・ 中途半端な答えをして、誤解を招かないようにしてほしい。一度整理してはどうか。
- ・ 釜蓋遺跡は都市公園と史跡公園などが色々絡んでいる。史跡公園で火を焚いてはいけないということはない。都市公園法でも「むやみに」という言葉が使われている。

木島オブザーバー)

- ・ 糸魚川市の長者ヶ原遺跡では、遺跡に興味があって見学する人は少ない。ただし、その他の楽しみ、例えば散策コース、山菜やキノコ採り、自然観察の場などで遺跡を訪れる人は結構多い。いろいろな利用の仕方があると思う。
- ・ 遺跡公園の広場をボーイスカウトや植樹会、テント市や市民劇団のミュージカルなどの会場として使った例もある。声をかけるといろいろな反応をしてくれる。

小島委員長)

- ・ いろいろな使い方、使い勝手というものを県や文化庁に相談させてもらえばいい。都市公園であれば、都市整備課を通じて国土交通省の公園の使い方を勉強させてもらえばいい。そうしたことをふまえてオープンに向かっていってほしい。

八木委員)

- ・ 4月中旬のオープンイベントは、できれば賑やかなイベントにしてほしい。こっそりと真面目にやるオープンイベントではよろしくない。

事務局)

- ・ 新幹線の開業、高田城の観桜会後の時期に、釜蓋遺跡公園のオープンを当てたいというふうに考えている。賑わいを波状で出せるようにしたい。

### (3) その他

事務局)

- ・ 施設の設置条例を検討中である。利用時間は9時から5時、入館料は無料ということで考えている。
- ・ 休館日については、曜日や回数について検討中である。
- ・ 施設の名称については、この場で委員の方々の意見をお聞きして、どのような形で最終的な決定にするかも含めて検討いただきたい。

小島委員長)

- ・ 事務局から、改めて委員の方々に問いかけをしていただいてはどうか。